

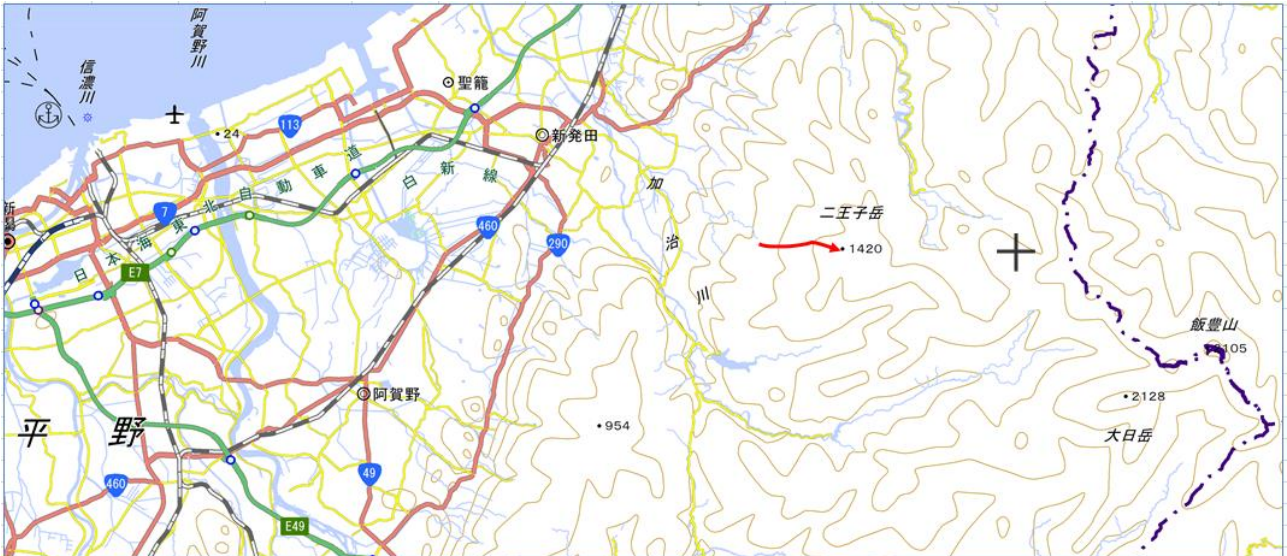
二王子岳ハイキング 山行報告書

【山 域】飯豊前衛（新潟県新発田市の東方の山）

【日 程】7/27(土) 日帰り 曇り時々晴れ、一時雷雨

【参加者】CL 柘植(記録)、SL 澤田路、大木、渡辺純

【コストム】二王子神社 8 : 00→山頂(女性陣のみ) 12 時すぎ→15 : 30(女性陣) 二王子神社



この週末は関東甲信越から東北南部まで梅雨前線と台風の影響でどこも悪天候の予報。探し回って唯一行けそうな場所を下越(新潟県の県北部の海際)と見定め、二王子岳に行くことにした。前夜千葉を出発するが、出発して間もなく滝のような豪雨に見舞われる。この先どうなるかと思うが、北に向かうにつれて徐々に小雨になり、関越トンネルを抜けてしばらく走るとようやく雨も止んだ。当日は長岡手前の山谷 PA で仮眠。翌日聖籠新発田 IC で高速を降りて、二王子岳に向かう。柘植はこれまで二王子岳には2回登っているが、いずれもまだ山肌が白い時期で立派な山容であった記憶があるが、今の時期は山体が黒々としており、やはり雪がある時期のほうがカッコいい。天気はあまりよくないし、この暑い時期なので登山者などいないのではないかと思ったが、駐車場は多くのクルマで8割方埋まっていた。やはり二王子岳は交通の便がよく、展望も優れているということでなかなか人気のある山ようだ。駐車場から少し歩いたところにある二王子神社は相変わらず立派でなつかしい。登山道はよく整備されており、3合目の避難小屋で最初の休憩をとる。



二王子神社前にて



3合目の避難小屋

今日は夕方から雨になり、明日も雨らしいので、テント泊はきつい。それで毎年この近くに来た時にはよく使う馬下保養センターに電話してみると、幸い一部屋空いているということで予約させてもらう。これで下山後の宿については安心だ。さらに登ると海のほうの展望が開け、間近に見える島は粟島だろうか……。道の両側にアジサイがきれいに咲いているエリアを抜けると5合目に到着する。



遠く海岸線と粟島を望む



アジサイの花

994m三角点があるところは定高山というようで、積雪を計るポールが立っているが、目盛が7mくらいまであり、みんなびっくりしてしまう。ここで先に着いて休憩していた中年の女性二人組はあまりに暑いのでここから引き返すという。私も今日はあまり調子がよくないので、後についていきたい気分になる。このあたりからは傾斜も緩んで登るのはラクにはなってくるが、木がだんだん小ぶりになって木陰が少なくなり、おまけに天気はよくなってきてひたすら暑い。直射日光がガンガンあたり、少しフラフラしてきてこれはもう無理だと思いはじめる。ちょっとした木陰のあるところで柘植は GiveUp 宣言。女性陣から冷却シートをもらって首筋や額に貼ってもらい、冷たいお茶をいただいて回復を期するが、どうも無理な様子。この先無理に頑張ってもきっとみんなの足を引っ張るだけだし、下手すると歩けなくなる心配があるので、3人で山頂を目指してもらうことにする。こんな情けないことになるのは初めてで残念だが、一人ゆっくり下山する。5合目あたりだったのだろうか？途中で大木さんから電話。話を聞くと女性陣は順調に登行を継続し、12時すぎに山頂に到着したとのこと。



山頂の避難小屋には昼間から宴会の男性パーティがおり、内部は酒臭くて眉をひそめたらしいが、山頂からの展望は絶景で、飯豊の峰々が眼前に展開するすばらしい眺めを満喫できたらしい。



お互い下山途中で雷雨に見舞われてびしょ濡れになったが、柘植が二王子神社に着くころには止んだ。30分くらい遅れて女性陣も到着。これでテント泊だったら悲惨なことになったはずだが、宿を確保できているので、一路馬下保養センターに向かう。勝手知ったる施設でさっそく入浴～宴会。みんな疲れていたのでも 20 時すぎには寝てしまった。夜何時ごろか目覚めるとかなりの雨が降っていた。朝は一応雨は止んでいたが、付近の山は中腹以上が雲のなかで、きっと行ってもダメだよということで、そのまま帰葉することにした。

個人的には暑さに弱いところがモロに出てしまったが、2ヶ月間も山に行かずにサボっていたこともバテた原因かもしれない。これからは暑さ対策に十分気をつけて山に行かねばという反省材料満載の山行でした。

山行報告：柘植 秀樹